

# 春の遠足を通して

～幼児期運動指針 基本的な動きの観点より～

かえで組

2023. 5. 22

アスレチックに  
チャレンジ!



一人ひとりが自分なりに取り組みながら、身体を動かす心地よさを感じたり、様々な基本的な動きを経験したりする機会となるよう、心掛けていきました。



## せんせいチャレンジ (全8種類)

<p>おす</p> <p>おうちのひととおすもうしてみよう!</p>	<p>とぶ</p> <p>おとがなるばしよがあるよ。さがしてみよう!</p>	<p>もつ</p> <p>うさぎさんになっておうちのひとのまわりをぐるっととんでみよう!</p>	<p>10かいもちあげてみよう!</p>	<p>はなれていてもきこえるものがあるよ。おやこではなしてみよう!</p>	<p>10びょうかんふってみよう! どんなふりかたがあるかな?</p>	<p>フラミンゴになってバランスをとってみよう!</p>	<p>えをかけるばしよがあるよ。みつめてかいてみよう!</p>
------------------------------------	--	--	----------------------	---------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------	---------------------------------

<幼児期において獲得しておきたい基本的な動き>

\*体のバランスをとる動き (立つ、座る、渡る、ぶら下がるなど)

\*体を移動する動き (歩く、走る、跳ぶ、登る、すべるなど)

\*用具などを操作する動き (持つ、運ぶ、投げるなど)

水鳥の池



自由に遊ぶ



学年でゲーム  
～グループ対抗～



遠足後、遊びの中でも、チャレンジカードを使っていろいろな身体の動きをしたり、新たな動きを見いだしたりして楽しんでいます。また、固定遊具等に繰り返し挑戦する姿も見られます。

どんな  
チャレンジが  
できるかな？



『投げて』→『とる』  
もできるよ！



片手を離せるよ！



基本的な動きをバランスよく身に付けることは、体力・運動能力の向上だけではなく、社会適応力や認知的能力の発達、健康な心と身体を育んでいきます。遊びの中で多様な動きを楽しみながら総合的に経験できるように心掛けていきたいと思ひます。同時に、友だちの姿に刺激を受けて「やってみよう！」とする意欲の芽生えも促していきたいと考えています。